



JAあそだより

平成25年 2月



J A 楠木まつり(県農業公園カントリーパーク)

■今号12ページ主な内容

- 仕事始式/県家の光大会/県農業コンクール大会表彰式
- 各生産部会で「反省会・総会」開催
- まるごとあそっ子スクール閉校式
- JA阿蘇、窓口ロールプレイング県大会で最優秀賞!

ほか話題満載!!



JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088



「祈願祭及び仕事始式」が1月7日、本所駐車場で行われました。神事が厳かに執り行われた後、仕事始式で工藤保護組合長が「昨年の豪雨災害で被災された組合員・地域住民の方の一刻も早い復旧・復興に全力で取り組み、政権交代後もTPP参加は国民全体の問題として受け止め、継続し反対運動を進めていかなければならない。本年は次のJA阿蘇総合3カ年計画「協同組合の力で農業と地域を豊かにする」次代へつなぐ協同」を主軸に、プロジェクトチームを立ち上げ、今後のJA阿蘇の在り方を策定・実践し、役員員一人一人が地域・組合員に頼られる「JAづくり」を目指し、一丸となって頑張ろう」と決意を力強く述べました。



新年の決意を述べる工藤組合長

第60回熊本県家の光大会

JA阿蘇、各部門の活動普及功労やちやぐりん感想文全国コンクール等で表彰を受ける

「入：JA・地域 広げよう新たな協同の輪」を大会スローガンに、第60回熊本県家の光大会が12月13日、宇城市のウイングまつばで開かれました。大会には家の光愛読者をはじめJA女性部、青壮年部、JA・連合会役員ら約700人が参加しました。



写真右＝特別運動優績JA表彰を受ける工藤組合長
写真左＝生活文化活動普及功労団体表彰を受ける女性部高森支部



同大会でJA阿蘇は「地上」11月号特別運動優績JA表彰を受賞、JA阿蘇女性部高森支部が生活文化活動普及功労団体表彰を受賞しました。

「第35回ちやぐりん感想文全国コンクール」入賞者の表彰もあり、JA阿蘇管内より高森中央小学校の井芹颯吾くん、白水小学校の奥栢花音さん、小国小学校の坂田航大くんがそれぞれ表彰を受けました。

家の光記事活用体験発表ではJA阿蘇女性部久木野支部（フレッシュミズ）の藤原美里さんが「出逢い」と題して、家の光を通しての体験発表を行いました。また、記念講演として熊本成功学会代表取締役の黒木安馬さんが「面白くなくちゃ人生じゃない」と題して講演を行いました。



「ちやぐりん感想文全国コンクール」入賞者表彰



写真右＝家の光大会で表彰された工藤組合長や女性部高森支部の皆さん



写真右「出逢い」と題した活動体験の発表をする藤原美里さん

さらなる農業の進展を実現
JA阿蘇管内から
3個人と1団体が入賞



第53回熊本県農業コンクール大会の表彰式が1月30日、熊本県庁地下大会議室で行われました。同コンクールは優れた農業経営や地域活動に光を当て、農業・農村の振興を図る目的で毎年開催されています。

今回、JA阿蘇管内からは「経営体」「新人王」「食と農」の3部門と「地域貢献賞」に、3個人と1団体が入賞しました。（写真右＝農業コンクール大会で祝辞を述べる菊島知事）

「経営体部門優良賞」
佐藤春生・哲子さん



経営体部門優良賞の佐藤春生・哲子さん夫妻（南阿蘇村）は高冷地に新規作物（アスパラガス）導入。新たな産地育成と耕作者拡大に貢献しました。

「新人王部門優良賞」
小泉貴裕・亮子さん



新人王部門優良賞の小泉貴裕・亮子さん夫妻（高森町）は2006年に就農し、自家製堆肥や有機肥料にこだわったトマト栽培・ジュースの販売を手掛けています。

「食と農部門優良賞」
南阿蘇青年農業者クラブ



食と農部門優良賞の南阿蘇青年農業者クラブ（高森町）は耕作放棄地を活用した農業理解活動・地元農産物を使った加工品開発に取り組んでいます。

「地域貢献賞」
北 泉次郎さん



地域貢献賞の北泉次郎さん（南小国町）は無農薬・減農薬の「赤とんぼ米」のブランド化に尽力しました。



◆中部キュウリ部会

消費地からは評価のコメント
販売額を4500万円と設定



「次年度に向け頑張ろう」と挨拶する市原伸博部会長

J A阿蘇中部キュウリ部会は12月13日、2012年反省会及び総会を阿蘇市で開き、部会員・市場・JA関係者ら50人が出席しました。12年は出荷数量3万1000ケース(1ケース5kg)、前年比96%、販売高3400万円、前年比89%で前年を九州北部豪雨災害の影響により下回りました。市原伸博部会長は冒頭の挨拶で「7・12豪雨災害の影響で大変なご苦労があり、単価

も低く今までにない価格だったが、次年度へ向けて頑張って頂きたい」と述べました。市場関係者からは「シーズンを通して安定した供給を頂き、消費地としては大変ありがたいことだと感謝しています。品質的にも安定しており、夏場のキュウリ生産地と期待しています」と評価するコメントがありました。次年度計画としては、販売金額を4500万円、10a当たりブルームレス7.5t、ブルーム11.5tを目標とすることを確認しました。

◆萩の草りんどう部会

今季販売額は3600万円
適やかな出荷計画で有利販売へ

J A阿蘇萩の草りんどう部会は12月14日、2012年度反省会を阿蘇市で開き、部会員や市場・JA関係者ら25人が出席しました。

後藤孝治部会長は開会冒頭に「豪雨災害により被害に遭われた生産者の方もありましたが、栽培管理の徹底と諦めない意欲で今季を乗り切ることができました」と挨拶しました。今季は前年比で生産農家同数、栽培面積同、販売金額3600万円、前年比98%でした。販売員の大串洋介職員は「次年度

◆中部ミニトマト部会

販売額3400万円
後半盛り返すが前年下回る

J A阿蘇中部ミニトマト部会は12月11日、2012年反省会及び総会を阿蘇市で開き、部会員や行政・市場・JA関係者ら30人が出席しました。12年は豪雨災害の影響で出荷数量2万ケース(1ケース3kg)、前年比92



「諦めない意欲で乗り切れた」と挨拶する後藤孝治部会長

からは、部会の出荷計画を速やかに市場等に繋ぎ、有利販売に努めたい」と話していました。また、関係機関より今年の情勢報告等も行われました。

%、販売金額3400万円、前年比86%と下回りました。

草尾和幸部会長は冒頭挨拶で「豪雨災害により生産者は大変なご苦労をされ、収穫皆無の圃場も多かった。部分的に生産物が残った圃場は、後半の高単価により盛り返されたが、次年度は障害果の発生を減らし高品質、安定出荷に努めたい」と述べました。

市場関係者は3kgバラ詰めの出荷形態に「業務用のシェアが多く評価が高いので次年度も期待している。品質等は申し分ない」と評価しました。また、次年度目標として、部会平均で10a当たり5tを指すことを指導担当の笹原祥樹職員も確認しました。



「高品質、安定出荷に努めたい」と挨拶する草尾和幸部会長

◆中部トマト部会

後半持ち直し9億3000万円
各部門の表彰も行う



JA阿蘇中部トマト部会は12月20日、2012年反省会及び総会を阿蘇市で開き、部会員や行政・市場・JA関係者ら150人が出席しました。

12年は生産者数146人(前年比102%)、面積35.4ha(同103%)、出荷数量68万ケース(1ケース4kg)前年比82%、販売金額9億3000万円(同78%)と九州北部豪雨災害の影響

響により大きく下回りました。

山本清五部会長は冒頭の挨拶で「7・12豪雨災害により甚大な被害を受け、全体の面積の2割弱が収穫皆無、長雨と日照不足の影響もあり、8月の収穫量が前年対比5割と減ったが、後半の高位により9億3000万円と持ち返した」と述べました。

市場関係者は「シーズンを過ぎて安定した供給を頂き、消費地としては大変ありがたいと感謝いたします。品質的にも安定しており、夏場のトマトの消費拡大に大きく貢献できたと考えております」と評価しました。

最後に次年度部会生産目標として、部会平均10a当たり10t、総出荷量85万ケース(1ケース4kg)を目指すことを指導担当の平野伸太郎職員も確認し、閉会しました。

尚、当日表彰された方は次のとおりです。(敬称略・写真上参照)

- ◇JA表彰「販売高部門」＝塩谷先
- ◇部会表彰「栽培技術部門」＝亀井富士雄、鏑川雄太、小野勝義



◆JA阿蘇中部イチゴ部会

豪雨被災者へイチゴ贈る

JA阿蘇中部イチゴ部会は12月25日、阿蘇市内の仮設住宅へイチゴ100パック(1パック300g)を贈りました。

寄贈式では初めに宮本陽一部会長が「私たち、イチゴ生産者も豪雨災害の影響で苗の流出、ハウスに土砂や流木の被害を受け、一時は今年産の作付を諦めた部会員もいましたが、各産地の救済苗やボランティアの協力を頂き、今年産の栽培は今まで以上に頑張っているかなくてはならないという強い気持ちになりました。その中でもJA八代の部会員が、毎年イチゴ農家が減ってい



る中、同じイチゴ生産者として災害の影響でこれ以上仲間を減らしたくないという思いで、ボランティアに来てくれたことが一番に残っています。数少ない量ではありますが被災者の皆さんにイチゴを贈らせて頂きます」と述べ、代表として仮設住宅に住む森永宜義さんへ手渡しました。

森永さんは「仮設住宅の生活にも徐々に慣れてきましたが、復興の面ではまだまだ時間がかかりますが、この思いのこもったイチゴを食べて復興に向けて頑張っていきたいと思えます。これまでいろいろな皆様方からのご支援を忘れないよう、今後も頑張っていきたいと思えます」と、御礼を述べました。

写真上下＝中部イチゴ部会の宮本陽一部会長(右)から贈られたイチゴを手に持つ森永さん(左)



写真上下＝中部イチゴ部会の宮本陽一部会長(右)から贈られたイチゴを手に持つ森永さん(左)

昨年12月、JA阿蘇3番目のセルフ式スタンド「やまなみSS」オープン

組合員のためになる
地域密着のガソリンスタンド

JA阿蘇「やまなみSS」の落成式が12月17日行われ、併せて「グランドオープンキャンペーン」が12月20日までの4日間と、同22日から25日までの5日間「クリスマスキャンペーン」が実施されました。

新SSがオープンした場所は、国道57号線の道の駅波野(神楽苑)近くの小地野上廻畑です。新SSは波野・産山SSの2施設老朽化に加え、地下タンクの経過年数による漏洩の危険性回避、さらに配送の集約化などを目的に建設されました。名称は公募により厳正な審査の上、産山の「やま」と波野の「なみ」を頂いた案に決定しました。

落成式には経済連や建設業者、JA阿蘇役員ら55人が出席。神事後、工務保連組合長が「地域に密着し組合員のためになる施設として建設しました」と挨拶しました。新SSの広さは延べ約1297㎡で同時に2台の給油が可能で、JA阿蘇では阿蘇町SSに続いて3店舗目のセルフ式スタンドとなっています。

営業時間 午前7時〜午後9時
電話 0967-24-2472



関係者ら55人が出席して行われた落成式神事



工務組合長らによるテープカット



オープンした「やまなみSS」店舗前でドライバーの呼び込みをするSS職員



熊本に春の訪れを告げる恒例の「JA植木まつり」が、1月26日から2月25日まで県農業公園カントリーパークで開かれています。今年で38回目を迎えたJA植木まつりには庭木や花、鉢物など約120万点が出品されており、文字通り「緑の祭典」といえます。

会場ではJA阿蘇の農産物や農産加工品、特産品なども展示・即売されており、この植木まつりを心待ちにしていた多くの園芸ファンや観光客で賑わいを見せています。



春のJA植木まつり
2月25日まで開催中!

JA 阿蘇 無料!! 保障確認キャンペーン

自分が入っている保
障の内容について詳
しく知りたい!!

契約してから一度も見直
しをしていない...



今入っている保険が、自
分たちにとって最適なの
かよく分からない!!

現在の契約内容がよく
分からない!!

JA以外にご加入の方でも!!

ご加入の保障内容(生命・建物・自動車)の
特徴等を分かりやすくご説明します!!



近年、ご自身の保障内容が適切かどうか相談ができる、来店型の保険SHOPが多数できているくらい
保障内容確認に興味を示されている方が急増しています!!

貴方の疑問をお聞かせ下さい

連絡いただければお伺いいたします
保険証券お預かりさせていただいた方全員に粗品を進呈!

まるごとあそっ子 閉校式(12月15日) 料理教室で、里芋のピザとみそ汁づくり!

「まるごとあそっ子スクール」の閉校式が12月15日行われました。5月から始まったあそっ子スクール閉校式には、生徒・保護者らを含め約50人が参加しました。初めに3回目の活動で手作業で脱穀・粉摺りをした米を、小型精米機を使い目の前で白米にしました。あそっ子らは機械から白米が出てくると、「おー、すごい」と歓声を上げながら覗き込んでいました。白米は昼食のおにぎりにしました。

次に料理教室をしました。メニューは里芋のピザとみそ汁です。あそっ子らはピザの材料に里芋を使うことに不思議がっていましたが、JA阿蘇女性部の伊藤モトエさんの指導で、里芋をつぶすなど一生懸命調理を行いました。出来上がった生地思い思いにトッピングして焼き上げると、あそっ子らから「おいそー!」と歓声があがりました。出来上がった料理は昼食として参加者全員で食べました。

昼食後は修了式が行われ、あそっ子スクールの校長先生である工藤組合長から、一人一人に修了証書が手渡されました。そして、内牧小学校6年の河野宏志君が「あそっ子スクールで今まで経験したことのないことが体験できました。JAの皆さんありがとうございました」と元気よく、あそっ子代表のあいさつをしました。修了式を終えたあそっ子たちは「来年もまた参加したい」と、にこやかに話していました。



出来上がった「里芋ピザ」



「良くがんばりました!」
修了証書の授与



河野君の
あそっ子代表あいさつ

工藤校長先生
の
ごあいさつ



ピザのトッピング
「わあ!! おいそー!!」



あそっ子スクール閉校式に参加したあそっ子とJAスタッフの皆さん

JA阿蘇女性部3支部(白水・長陽・久木野) 正月料理講習会を開催

JA阿蘇南部地区で12月7日、正月料理講習会が行われました。当日はJA阿蘇女性部白水支部、長陽支部、久木野支部の部員約15人が参加し、昨年より4品増やした14品を調理しました。

この料理講習会は、部員同士の交流や情報交換の場になればということで、夏と冬の年2回開催されています。当日は、年末ということで正月料理の講習会が行われ、家の光12月号に掲載されている「フライパンでチャーシュー」などのおせち料理や正月料理を作りました。また、JA宅配食材やコープ商品を活用した料理の提案もありました。

同地区女性部担当の瀬井真美職員は「この講習

会で腕に磨きをかけ、正月に向けてしっかり準備してほしい」と話していました。参加した部員からは「作る品数が多く大変だったが、思っていたよりも早く出来た」などの感想が聞かれました。

3支部では、今後も支部を超えた区域で交流や情報交換の場を作っていきたいとしています。



出来上がった14品のおせち料理 →



参加した女性部3支部の皆さん

窓ロールプレイング県大会
鶴林・安岡ペア(JA阿蘇長陽支所)
最優秀賞に輝く!



最優秀賞に輝いた鶴林職員と安岡支所長

J A窓ロでの接客対応技術を競う「J Aバンク熊本第10回窓ロロールプレイング大会」が1月26日、宇城市のウイングまつばせで行われ、J A阿蘇が見事最優秀賞に輝きました。



写真左上||金融商品の説明をする鶴林職員
写真左下||表彰受ける安岡支所長と鶴林職員

受賞した長陽支所の鶴林愛莉職員と安岡親典支所長のペアが、それぞれテラー役(窓口対応係)と上司役として出場しました。審査には各JAの組合長や農林中金熊本支店長らがあたり、出場した鶴林職員らはあらかじめ設定された事例に従い、J Aカード(二体型)の推進など日頃の窓口での対応技術を活かし、お客様役(農林中金職員)に分かりやすく、はつきりとした口調で説明を行いました。

- ◆最優秀賞||JA阿蘇長陽支所
- 優秀賞||JA上益城嘉島支所
- 優秀賞||JA鹿本鹿本町支所

未来塾修了レポート発表会
筑紫大輔職員

「組合員とJAの絆作り」発表



未来塾で修了レポートを発表する筑紫職員

J A熊本中央会主催の「J A戦略型中核人材育成研修会」未来塾二修了レポート発表会が1月18日、J A熊本教育センターで行われ、一の宮中央支所購買課やまなみ給油所長の筑紫大輔職員が研修成果を発表しました。

この研修会は今後のJ A運営を担う中核となる人材を継続的に育成することを目的に、各JAから推薦された研修生16人がさまざまな考え方やノウハウを身に付けるため、昨年5月から10回、延べ25日間の研修を受けてき

ました。

当日は各JAの常勤役員や上司など82人が参加。7分間ずつのプレゼンテーション形式で行われ、研修生はパワーポイントを使い、JAがとるべき戦略や、その実践具体策を力強く発表しました。

筑紫職員は「組合員とJAの絆作り」と題して、元気な農業・JAを取り戻すために、今後JAとしてどう取り組んでいくかについて発表しました。惜しくも入賞はできませんでしたが、素晴らしい発表を見せてくれました。



1月25日、JA阿蘇企画会議席上で未来塾修了レポートの成果を報告する筑紫職員

理事会・監事会報告

■平成24年度第11回理事会

日時 平成24年12月18日午後1時30分
一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

委員会報告(債権管理委員会・総務(配分)委員会)

11月末実績報告について

- 1) 資産査定要領改正(案)について
- 2) 平成24年上期決算監事監査報告書について
- 3) 貸出金について
- 4) 資産近代化リース事業借受申請について
- 5) 平成24年度全国監査機構決算監査期中改善指示書について

報告事項

- 1) 平成24年度JA共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要について
 - 2) 年末年始休日の緊急連絡先について
 - 3) 仕事納めに伴う支所巡回並びに新春の年賀について
 - 4) 年末年始の業務等について
 - 5) 平成24年度導入家畜欄卸監査実施要領について
 - 6) その他
4. 閉会

■平成24年度第12回理事会

日時 平成25年1月30日午後1時30分
一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会)

12月末実績報告について

- 1) JAマイカーローン「輪軸スプリングキャンペーン2013」の実施に伴うキャンペーン金利設定について(案)
- 2) 農業生産資金(農機具購入)および農機ハウスローン金利設定について(案)
- 3) JA教育ローン「希望」キャンペーン実施に伴う特別金利の設定及び振込手数料の減免について(案)
- 4) JA住宅ローン金利施策等について(案)
- 5) 平成24年7月阿蘇地域集中豪雨災害対策資金要領の改正について
- 6) 平成24年度上期決算監事監査回答書(案)について
- 7) 熊本県(行政庁)への報告について
- 8) 貸出金について
- 9) 債権処理について

10) 斎場取得について

報告事項

- 1) 平成24年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの進捗状況について(12月末)
 - 2) 平成24年度決算監査(期中II資産査定等)の実施について
 - 3) 不祥事未然防止の為の行動計画24年12月末進捗状況について
 - 4) 県域ローンセンター媒介業務実績について
 - 5) 平成24年度米集荷状況について
 - 6) JA阿蘇活動総合3ヶ年計画の24年12月末進捗状況について
 - 7) 要改善JA(指導区分「5」)の指定について
4. 閉会

●平成24年度第9回監事会

日時 平成25年1月15日午後1時30分
場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成24年度導入家畜等欄卸監査実施について
- 2) 監事監査報告書の理事会における取扱について
- 3) 監事監査指摘事項の回答方法について
- 4) 専門委員会のあり方について
- 5) 座山・波野給油所欄卸残高確認について
- 6) 平成24年度期末監事研修会の開催について
- 7) その他

報告事項

- ①第16・17・18・19回常働会議 主な内容について
 - ②平成24年度 九州地区常働監事監査研究会(抜粋)について
 - ③平成24年度 第2回常働監事研究会について
 - ④常働監事業務報告について
 - ⑤行事予定について
4. 閉会



国が支える 安心が大きくなる

担い手積立年金

【略称】

～ しっかり積立て、がっちりサポート 安心で豊かな老後を ～

- ☆ あなたの老後生活への備えは十分ですか？
- ☆ 年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。
- ☆ 老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。

① 65歳の農業者の方の平均余命は
男性22年(87歳)、女性27年(92歳)

老後はお金の心配をせずに暮らしたいものです。その間予測不可能な経済変動があり、思わぬケガや病気もあります。

※ 日本人の平均余命は男性84歳、女性89歳となっており、農業者年金加入者の平均余命の方が長くなっています。

② こんなにかかる老後生活
(現金支出で年額約280万円)

高齢農家世帯(世帯主が65歳以上の夫婦2人)の家計費は、現金支出で月額約23万円が必要となります。

③ 国民年金の支給額(年額158万円)

農業者の皆さんが加入している国民年金の支給額は、40年加入で月額約6万5千5百円、夫婦あわせて月額約13万1千円です。



このように、豊かな老後生活のためには、国民年金だけでは十分と言えず、老後の生活費は自分で準備する必要があります。

サラリーマンは国民年金(基礎年金)の上乗せ年金として、厚生年金や共済年金(厚生年金のモデルケースでは夫婦2人で年額約280万円、月額約23万円)を受け取っています。

農業者の皆様も、メリットがたくさんある**農業者年金**に加入して安心で豊かな老後を迎えましょう。

◆農業者年金に加入すれば～農業者年金の支給額(年額)の試算◆

加入年齢	納付期間	運用利回り1.35%の場合		運用利回り2.00%の場合	
		男性	女性	男性	女性
20歳	40年	66万円	57万円	75万円	65万円
30歳	30年	46万円	40万円	52万円	45万円
40歳	20年	29万円	25万円	31万円	27万円
50歳	10年	14万円	12万円	14万円	12万円

(注) この試算は、通常加入で保険料月額2万円で加入し、65歳までの運用利回りが1.35%及び2.00%、65歳以降の予定利率が1.35%となった場合の試算です。
 運用利回り1.35%は制度発足以降の10年度間の運用利回りの平均です。
 予定利率1.35%は、農林水産省告示(H24.4.1施行)により定められている率です。